科目名	環境保護	履修学年	第３学年
		履修形態	選択
		履修単位	２単位
使用教科書（出版社）	なし		
使用教材（出版社）	プリント等		

学習の目標

身近な環境・自然科学現象について体系的にとらえ、生涯を通じて地域の環境保護に関心をもつことのできる、豊かな人間性を育成する。

教科担当者から

活動・作業が多くなるので、事前の説明をよく聞いて、安全に留意した調査・実習を行っていきましょう。自ら積極的に動き、周囲と協力して活動しましょう。日々の授業の中での取組を重視して評価をします。

評価の観点・方法・割合

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
規準	身近な環境・自然科学現象に興味関心をもち、それらを科学的に見る意欲や態度をもとうとしている。	地域の自然や環境について、一つの考えにとらわれず、様々な角度・立場から考察することができる。	作業・観察・調査などの基本技術を身に付けられている。観察 ・調査の過程や結果及びそこから導き出した自らの考えを的確に表現できる。	身近な環境・自然科学現象について、理解ができる。調査結果を表現する方法の知識を身に付けている。	
方法	※ ◎は観点の中でより重視するところです。				
授業中の行動観察	◎	○	◎	○	
提出物	○	◎	○	◎	
割合	30%	20%	30%	20%	

評価の基準 ※ 満点を100点としたとき

5	4	3	2	1
100点～85点程度	84点～70点程度	69点～45点程度	44点～30点程度	30点未満

学習内容

学期	月	単元名／学習内容	学習のねらい	評価の観点 関	思	技	知		時間
前期	4 5	ポー川の生態調査 カヌー作成	・ポー川に自生する木を伐採し、その木々を調査する。 ・木材の性質を十分に理解し、必要な形に加工できる技術を身に付ける。	○ ○	○	○ ○	○		16
	6 7 8	水質調査 ＜言語活動＞レポート	・水質の経年変化をとらえ、その結果を科学的に分析する。	○	○	○			12
	9	課題研究課題設定	・後期から実施する課題研究に向けての準備を進める。地域のものを使って、科学的に結果を判断できる研究を行う。	○	○	○	○		12
後期	10 11 12	課題研究	・自ら課題を設定し、研究・調査を行い、それをわかりやすく発表することで、問題を科学的に解決する能力を養う。	○	○	○	○		14
	1	課題研究まとめ ＜言語活動＞発表、レポート	・研究した課題について、多くの人の前で発表することで、要点をわかりやすくまとめる能力、コミュニケーション能力の向上を図る。	○	○	○	○		6
									60